

植え付けから食べるまでを体験

事業実施主体:枚方市(大阪府)

大阪府



- 第3次枚方市食育推進計画では、若い世代を中心とした食育の推進や地産地消の促進と環境に配慮した食育の推進を課題としており、食に関する興味・関心を高める取組として農業体験を進めている。
- 主に小学5年生を対象に地元の農業者に指導を受けながら農作業を体験することで、地域の食材に関心を持ち、食の大切さ、豊かさを知る機会を提供し、栄養バランスに配慮した規則正しい食生活の実践を図る。

【取組の内容】

- 植付けから食べるまでを体験
 - ・枚方市内の5つの小学校の主に5年生を対象に、延べ1,133人が実施。
 - ・田植え、稲の花の観察、稲刈りの作業を学校により選択して実施。
 - ・収穫したお米を炊飯し、おにぎりにして食べるまでを体験。
 - ・地元の田んぼで、地元の農業者に指導を依頼。
- 地域の食材の魅力を伝える講和
 - おにぎりを食べた後に、大阪産(もん)をはじめ地域の食材の魅力を紹介する講話を行うとともに児童との意見交換を実施。



田植え(6月)



稲刈り(10月)



実食体験(12月)

【取組の成果】

- 成果
 - 食材の栽培から消費に至る一連の流れを体験することにより、地域の食材や食文化への関心を高め、その魅力を再認識できた。
 - 体験実施前と実施後にアンケート調査を行った結果、地域の食材への関心を持つ児童の割合が増加した。
- 児童の反応
 - ・稲穂が思っていたよりも硬く、鎌の刃が鋭くて驚いた。
 - ・コンバインなど便利な機械がなかった昔の農家は大変だったと思う。
 - ・米作りは面白い。農家をしたくなった。ちゃんと学びたい。

【事業の目標】

- 農林漁業体験者の増加
 - 目標値 1,000人
 - 延べ 1,133人が参加
- 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合
 - 農業体験実施前 44.0%
 - 実施後 56.3%
 - (目標値:事業実施前から2.4%の増加)

